

【同窓会 報告】

35 回生同窓会報告

土田 信明(35 回生)



萌えるような新緑の美しい季節に第 15 回目の同窓会を開催した。

日時は平成 24 年 5 月 23 日(土)、24 日(日)の両日。滋賀県と三重県の県境近くの、山々に囲まれた信楽町多羅尾温泉が宿泊地である。周辺は狸の焼き物で有名な信楽焼の産地、陶器の町として知られる所で、山々の緑に囲まれ大自然一杯で身も心も癒される環境の良い所である。

今回の参加者は 16 名で、恩師の山田先生もご多用の中出席頂きました。

23 日(土)の午後 2 時大津駅に集合、ホテルの送迎バスにて信楽町へ向かった。車窓から見える山々の美しい緑の景色に見とれ、自然を満喫している間にホテルに到着した。先に着いていた 2 人とも合流し全員が揃った。

夕方の宴会まで時間があるため温泉で体を休めたり、目の前にあるパットゴルフを楽しんだり、別のグループは早々と酒盛りを始めて久々の再会を懐かしんで会話も弾んでいた。

夕刻 6 時半から宴会場においてお楽しみの懇親会が始まった。最初に曾我部幹事の開会挨拶と翌日の予定など説明があった。続いて東郷氏の乾杯で宴会が始まった。そして山田先生のご挨拶を頂戴しました。料理はホテル自慢の会席料理でさすが美味であった。酒の量が増すにつれ一段と賑やかさが増し互いの近況報告や旧交を暖め昔話しに花が咲いていた。時間も過ぎ宴終了後は例年のように部屋を移して 2 次会の宴となった。参加者の中には地方の地酒を持参して頂き、これが本当に美酒で瞬く間に空になっていった。酒量も年々歳を重ねると減少していくものであるが未だ酒量が衰えないという人もいた。さらに現在も現役並みに勤務されている人もいて頭が下がる思いです。

翌 24 日(日)はホテルのバスを利用して近くの広大な敷地にある陶芸の森や、現在残り少なくなったのぼり窯や信楽焼工房を見学した。宗陶苑の工房では名のある陶工さんの研修を受けたが、1 時間に及ぶ講義には皆うんざりし、退屈だったようである。昼食は曾我部幹事のお薦めで美人ママが営むイタリア風料理店で再度乾杯を行い、美味しい料理に酒も進み楽しい昼食であった。ここで自家用車の 2 人と別れ大津駅に向かい散会となった。

皆様お疲れ様でした。信楽焼と緑の自然を堪能されたでしょうか。尚、今回の記念写真と手間入りの DVD の作成には岡田氏と曾我部幹事に大変お世話になり有難うございました。お礼を申し上げます。

次回開催は2年後に京都周辺の皆様にお世話になる予定です。それまで健康に留意され、元気な姿でお逢いできることを楽しみにしています。

参加者

山田勝彦先生

上平熙、岡田東一、北村恵一、厚東正之、曾我部康之、田多井清志、土田信明、東郷忠士、中村早苗、那波紀興、増田寿一、松岡勇、森川茂雄、安威澈、安田浩二、吉岡毅

以上

* 通巻 205 号 2012 年 9 月 25 日発行(H24-No.3)より